石川	工業高等	等專門学校	開講年度 平成30年度 (2018年度)	授	業科目	流域水工学	
科目基	礎情報							
科目番号	ļ	0012		科目区分		専門/選		
受業形態		講義		単位の種別と単位	位数	学修単位	: 2	
開設学科		環境建設	工学専攻	対象学年		専1		
開設期 教科書/教		前期		週時間数		2		
担当教員		☆ 給木 洋之	7					
到達目		12. 1						
2. 貯留関	₿数法の意味	にズムや理論を まを理解できる る流出解析がで	ð.					
レーブ	リック							
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安	
	のメカニズ 用できる。	ムや理論を理	! 流出現象のメカニズムや理論を理解して応用できる。	流出現象のメカコ 解できる。	流出現象のメカニズムや理論を理解できる		流出現象のメカニズムや理論を理解できない。	
庁留関数 解析がで	法を理解し きる。	て実際に流出	貯留関数法を理解して実際に流出 解析ができる。	貯留関数法を理解できる		3	貯留関数法を理解できない	
		項目との関						
		. B1専門(土木	工学) 創造工学プログラム F1専門()	建築学)				
概要	方法等 河川管理において流域スケールの水収支の評価は重要な技術の一つである。本講義ではこの評価に欠かせない流出解析 手法について説明する。本講義は最初に水循環を扱う水文学の概要と専門工学としての流出解析の意味を示す。また、流出解析法の一つである貯留関数法の物理的・数学的な理論を学ぶと共に実際の解析を行うことで流出現象を理解すると共に、実現場にて生じる流出問題の基本的な解決法を理解する。							
	め方・方法	要である 【関連科 水理学 I 【評価方 ・最終成		٥٤٤،	でやった	たことを実	ミデータにすぐに当てはめることが必	
^{注意点} テスト		・前期末	試験を実施する。 試験(60%)、課題(40%)					
ノ <u>ヘト</u> 授業計i								
<u> </u>		调			调ごと	 の到達目標		
		1週	水文学概論(1)		水文学の意義について理解し,近年の動向に解できる			
		2週	水文学概論(1)		水文学 解でき		いて理解し,近年の動向について理	
		3週	洪水データの処理方法(1)		実際のる	タを処理する方法を理解して計算でき		
		4週	洪水データの処理方法(1)		実際のる	タを処理する方法を理解して計算でき		
	1stQ	5週	流出現象と貯留関数法の概念(1)				へた流出解析の理論を理解して応序 きる.	
		6週	流出現象と貯留関数法の概念(1)		各種貯	ョー・ 用いた流出解析の理論を理解して応序 できる.		
		7週	貯留関数法の理論と流出解析法(1)		 '		用いた流出解析の理論を理解して応序 できる.	
前期		8週	貯留関数法の理論と流出解析法(1)		- '		用いた流出解析の理論を理解して応序 できる.	
		9週	貯留関数法の理論と流出解析法(1)				用いた流出解析の理論を理解して応斥	
		10週	貯留関数法の理論と流出解析法(1)		各種貯留関数を用い し,実際に計算でき		いた流出解析の理論を理解して応 きる.	
		11週	貯留関数法の理論と流出解析法(1)		各種貯留関数を用い し,実際に計算でき		いた流出解析の理論を理解して応 ぎきる.	
	2ndQ	12週	貯留関数法の理論と流出解析法(1)		各種貯留関数を用いた流出解析の理論を理し,実際に計算できる.		できる.	
		13週	貯留関数法の理論と流出解析法(1)		各種貯留関数を用いた流出解析の理論を理 し,実際に計算できる.			
		14週	貯留関数法の理論と流出解析法(1)		各種貯留関数を用いた流出解析の理論を理解 し、実際に計算できる.			
			-					

モテルコアカリキュラムの字習内容と到達	目標
---------------------	----

15週 16週

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0